## 第8回 カント

1 A 世界人人間のあり支援神跡が見速念あるいは鍵念によって確にようとした、カントルやヘーケルにいた名字の構造を何というか。         カント           2 A 随歌指令機能を使いらか。         カント           3 A 高級主権による対象の構成という考えによって種類能と合理語を放合したカントの主事を何という。         カントの温度が高い。           4 A 通路的環境に対いて限等をもつ選性が、実践の根域でどのような働きを立すのが受話したカントの蓄養を何というか。         『実践歴性批判』           5 A 理論と実践。を然と自由の問題を媒介するに関して、判断力が行っ意味を考察したカントの蓄養を何というか。         世間に対する関係とよって生まするに関して、判断力が行っ意味を考察したカントの蓄養を何というか。         世別による題性をのものの批判・特殊を行ったカントの学問的立場を付というか。         世別に対する関係とよって生まする世界に関立された人間の認識能力をカントは何というか。         世別に対するのだという、カントが行った後来の緊緊痛とはよったく逆の立場へかも携を何というか。         理論理性           7 B 対象の力を放送しまって生起する世界に限定された人間の認識能力をカントは何というか。         理論理性         実践理性           9 A 社会が認を必要が有多の場合に関して、自らの関連となりが通常性をかったいる。         理論理性         実践理性           10 A 実践理性が行うたで、あらいる返性的を住まるになった。         実践理性が行うたてあるいる返生的を企業を行いる。         実践理性           11 B 分と方とも、必然的に生まれてる。高を信いとからい。         実践理性         実践理性           12 B 学が立い方があって、あらいる返生性のを含ましまれる。         養務         選供           13 B 落準規に対する事業を必要のからいるがは、まま動りに道徳決したか。         選接機         対験理算と何といることのようなとしまるとのからいるを実施しまった。         対験理算とを受けません。           13 B 済を決しいるがにあるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといる			
3 A 20. 3 A 20. 3 A 20. 3 A 20. 4 A 20. 4 A 20. 4 A 20. 5 A	1 A		ドイツ観念論(ドイツ理想主義)
<ul> <li>4 人 選詢的領域において限界をもつ悪性が、実践の領域でどのような働きをたすのかを論じたカントの</li></ul>	2 A		カント
<ul> <li>3 海流論</li></ul>	3 A		『純粋理性批判』
6 日 現作による現性そのものの批判・吟味を行ったカントの学問的立場を何というか。	4 A		『実践理性批判』
<ul> <li>7 B 契磯の対象は独立して存在するのではなく、主観が有する認識の先天的な形式(カナゴワー)が対象を検索するのだとか、カントが行った従来の認識論とはまったく逆の立場への転換を何というか。</li> <li>8 B 自然的因果関係によって生起する世界に限定された人間の認識能力をカントは何というか。</li> <li>9 A 対議的認識を超えた行為の問題に関して、自ら法則をたて自らの意志に命令をかたえる理性をカン 実践理性 対域何というか。</li> <li>10 A 実践理性が打ちたてる。あらゆる理性の存在者に妥当する普通的な道徳上の法則をカントは何というか。</li> <li>11 B 人間自らが「為すべし」という実験理性の命令にしたがい、道徳法則に対する尊敬の念から行為しよ 義務 シとするとき、必然的に生まれでる意識を何というか。</li> <li>12 B 等級にがかってはいるが「義務から)行われたのではない、表面的に道徳法則に合致しているに 道徳法別に対する事敬と義務の念からのみ行われ、それゆえに道徳法別と合致している行為の性 権を何というか。</li> <li>13 B 養後は限に対する事敬と義務の念からのみ行われ、それゆえに道徳法別と合致している行為の性 権を何というか。</li> <li>14 B (著いめら行う)という、純粋に善への意欲を動機とする意志をカントは何と表現したか。 夢忘志 夢忘志</li> <li>15 B から行う」という、純粋に善への意欲を動機とする意志をカントは何と表現したか。 夢慮読 ある意にもとづく行為を重視する考えて、行為の善悪の基準を動機におく倫理的立場を何というか。</li> <li>16 L へらは為まりというような条件つきの命令で、条件に拘束されているために普遍性をもたず、 仮言命法(仮言命令) が高速制とはおりえない 命令を何というか。</li> <li>17 A を何という形式のみで、行為の具体的な内容をもたないために普遍性をもつ無条件の命令 定言命法(定言命令) かいか連続と関いを理を上の表しまる。 自律 自命法(自命) を通的対すたてた行為の原則に自らがしたがうことをカントは何と表現したか。 自律</li> <li>20 A 自律的な自由の主体であると考えた人格について、カントが述べたことは、「彼の人格や他のあらゆる人の人格のうちにあると聞きなし、つれてはいった。 人格 達徳的行為の主体であると考えた人格について、カントが述べたことは、「彼の人格や他のあらゆる人の人格のうちにあると聞せまりの(ところ語はよれぞれ何か。 人格 達他的介為の主体であると考えた人格について、カントが述べたことは、「彼の人格や他のあらゆる人の人格のうちにあると聞きなし、といて、カントが連べとのないよりに行為せよりの()としてのみあったのよりによりに対すました。 とれて見る</li></ul>	5 A		『判断力批判』
8 日 会構成するのだという。カントが行った従来の認識論とはまったく逆の立場への転換を何というか。	6 B	理性による理性そのものの批判・吟味を行ったカントの学問的立場を何というか。	批判主義
9 A 程論的設議を超えた行為の問題に関して、自ら法則をたて自らの意志に命令をあたえる理性をカン は他にいうか。	7 B		コペルニクス的転回
10 A   実践理性が打ちたてる。あらゆる理性的存在者に妥当する普遍的な道徳上の法則をカントは何とい   道徳法則(道徳律)   11 B   人間自らが「為すべし」という実践理性の命令にしたがい、道徳法則に対する尊敬の念から行為しよ   支持でない。行為の性格を何というか。   義務にかなって」はいるが「義務から」行われたのではない、表面的に道徳法則に合致しているに   適法性   道徳法則に対する尊敬と義務の念からのみ行われ、それゆえに道徳法則と合致している行為の性   道徳性   格を何というか。   道徳性   「善いから行う」という。純粋に善への意欲を動機とする意志をカントは何と表現したか。   善意志   夢なる意志にもとづく行為を重視する考えで、行為の善悪の基準を動機におく倫理的立場を何とい   動機説   16 B   道他と助じたうな条件つきの命令で、条件に拘束されているために普遍性をもたず、   仮言命法(仮言命令)   26   27   28   28   29   29   29   29   29   29	8 B	自然的因果関係によって生起する世界に限定された人間の認識能力をカントは何というか。	理論理性
11 B 人間自らが「為すべし」という実践理性の命令にしたがい、道徳法則に対する尊敬の念から行為しようとするとき、必然的に生まれてる意識を何というか。	9 A	理論的認識を超えた行為の問題に関して,自ら法則をたて自らの意志に命令をあたえる理性をカン トは何というか。	実践理性
11 B うとするとき、必然的に生まれでる意識を何というか。	10 A		道徳法則(道徳律)
13 B   道徳法則に対する尊敬と義務の念からのみ行われ、それゆえに道徳法則と合致している行為の性   道徳性   格を何というか。   道徳性	11 B		義務
14 B 「善いから行う」という、純粋に善への意欲を動機とする意志をカントは何と表現したか。 善意志	12 B		適法性
15 B	13 B		道徳性
16 B 「もし~ならば為せ」というような条件つきの命令で、条件に拘束されているために普遍性をもたず、 仮言命法(仮言命令) 道徳法則とはなりえない命令を何というか。	14 B	「善いから行う」という,純粋に善への意欲を動機とする意志をカントは何と表現したか。	善意志
16 B 道徳法則とはなりえない命令を何というか。	15 B		動機説
17 A を何というか。	16 B		仮言命法(仮言命令)
19 A 自らが打ちたてた行為の原則に自らがしたがうことをカントは何と表現したか。 自律  20 A 自律的な自由の主体をカントは何というか。 人格  道徳的行為の主体であると考えた人格について、カントが述べたことば、「汝の人格や他のあらゆる 21 A 人の人格のうちにある人間性を、つねに同時に( )としてあつかい、決して単に( )としてのみあっかうことのないように行為せよ」の( )に入る語はそれぞれ何か。 目的・手段  22 B カント倫理学のように、自律的な自由の主体に最高の価値をおく倫理思想を何というか。 人格主義  23 A カントが理想社会と考えた、相互の人格を目的にしあう社会を何というか。 目的の王国  24 A 道徳的理想を国際社会にまでおし広げ、自由で主体的な国家の連合体によってカントが実現しよう シカ アカロ	17 A		定言命法(定言命令)
20 A 自律的な自由の主体をカントは何というか。       人格         道徳的行為の主体であると考えた人格について、カントが述べたことば、「汝の人格や他のあらゆる       1 A 人の人格のうちにある人間性を、つねに同時に( )としてあつかい、決して単に( )としてのみあっかうことのないように行為せよ」の( )に入る語はそれぞれ何か。       目的・手段         22 B カント倫理学のように、自律的な自由の主体に最高の価値をおく倫理思想を何というか。       人格主義         23 A カントが理想社会と考えた、相互の人格を目的にしあう社会を何というか。       目的の王国         24 A 道徳的理想を国際社会にまでおし広げ、自由で主体的な国家の連合体によってカントが実現しよう。       また 平和	18 A		普遍的立法
道徳的行為の主体であると考えた人格について、カントが述べたことば、「汝の人格や他のあらゆる 21 A 人の人格のうちにある人間性を、つねに同時に( )としてあつかい、決して単に( )としてのみあ つかうことのないように行為せよ」の( )に入る語はそれぞれ何か。  日的・手段 カント倫理学のように、自律的な自由の主体に最高の価値をおく倫理思想を何というか。  人格主義 3 A カントが理想社会と考えた、相互の人格を目的にしあう社会を何というか。  目的の王国 道徳的理想を国際社会にまでおし広げ、自由で主体的な国家の連合体によってカントが実現しよう まれ 平和	19 A	自らが打ちたてた行為の原則に自らがしたがうことをカントは何と表現したか。	自律
21 A 人の人格のうちにある人間性を、つねに同時に( )としてあつかい、決して単に( )としてのみあ 目的・手段 つかうことのないように行為せよ」の( )に入る語はそれぞれ何か。	20 A	自律的な自由の主体をカントは何というか。	人格
23 A カントが理想社会と考えた、相互の人格を目的にしあう社会を何というか。 目的の王国 道徳的理想を国際社会にまでおし広げ、自由で主体的な国家の連合体によってカントが実現しよう まれ 平和	21 A	人の人格のうちにある人間性を,つねに同時に( )としてあつかい,決して単に( )としてのみあ	目的·手段
24 A 道徳的理想を国際社会にまでおし広げ,自由で主体的な国家の連合体によってカントが実現しよう ネカ 平和	22 B	カント倫理学のように、自律的な自由の主体に最高の価値をおく倫理思想を何というか。	人格主義
	23 A	カントが理想社会と考えた、相互の人格を目的にしあう社会を何というか。	目的の王国
	24 A		永久平和

25 B	道徳法則に対するカントの尊敬の念をしめしたことばで,彼の墓碑銘ともなっていることばは何というか。	「わが上なる星空と, わが内なる道 徳法則」
26 B	認識主観である自我が客観的対象をも生み出すとして、カントの理論理性と実践理性の二元論を統一し、主観的観念論を説いた哲学者は誰か。	フィヒテ
27 C	ナポレオン占領下のベルリンでフィヒテが行った,ドイツ民族主義を鼓舞した演説を何というか。	『ドイツ国民に告ぐ』
28 C	いっさいの対立を超えた絶対者において,自然と精神の対立を統一しようとする客観的観念論を展開したドイツの哲学者は誰か。	シェリング
29 B	「シュトルム=ウント=ドランク(疾風怒涛)」といわれる文学運動の先駆者で,『ファウスト』などによってドイツ古典主義文学を大成させた文豪は誰か。	ゲーテ
30 C	カントの影響の下に生涯を通して神精的・政治的自由を求め,『群盗』などによって強烈な個性の人間像を描いたドイツ古典主義文学の先駆者は誰か。	シラー